

志木二中だより



新春号 平成30年1月9日(火)
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

一年の計は元旦にあり

校長 本 荘 真

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。



さて、表題のことわざをしばしば耳にします。これは、一年の初めにその年の計画、目標をしっかりと決めて行動することが重要である、という意味の様です。一年後の自分がこうなりたいという姿をイメージして目標をたてると思います。一つに絞らずとも、学習面、生活面、部活動においてといくつかの目標になることもあるでしょう。3年生にとっては、目の前の受験を控え、その先の自分がまだ見えないと言うかもしれません。でも、大きな試練であるがゆえに、少し先を見てがんばることも必要だと思います。ふれあい講演会で安原先生もおっしゃっていました。「高校に入るだけでなく、その先のことも考えて勉強していった方が効果的である。」と。1・2年生にとっては、短い3学期ですのですぐに次の学年へ進級となります。今までの自分を顧みて、しっかりと目標をたててみましょう。本日の始業式で、こういう話を生徒にしたところでは。

話は変わりますが、^{たごやまふじ}「田子山富士」が市役所近くにあります。私も一度登らせていただき、保存会の方に説明をしていただきました。昔から志木市と富士山は密接な関係にあったようです。市内のいろいろな場所から本物の富士山も見ることができます。朝の通勤時に羽根倉橋から見える富士山は神々しく、雪を冠した今の時期は心が洗われるようです。



夕方、オレンジ色を身にまとったシルエットも大変美しいものです。

富士山は日本一の山と言われている名山ですから、その素晴らしさは言うまでもありません。人もそれぞれ素晴らしい面を持っています。本校においても、いろいろな角度から生徒の良さを見て、その良さを認め褒めて伸ばしていきたいと思っております。

保護者の皆様には、学校評価へのご協力ありがとうございました。ご指摘いただいた点については真摯に受け止め、改善していく所存です。そして、本校の良さについては、引き続き伸ばしていけるよう努めてまいります。